



U-PARL

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門
UEHIRO PROJECT FOR THE ASIAN RESEARCH LIBRARY
THE UNIVERSITY OF TOKYO LIBRARY SYSTEM

むすび、ひらくアジア 2

アジアの 〈共有〉 知の 〈共有〉

現 在東京大学では、アジアに関する資料と情報が集まる新たな「アジア研究図書館」の設立に向け、研究資源やマンパワーのよりよい〈共有〉のあり方を模索しています。ラーニングcommons、リソースシェアリング、クリエイティブcommons、オープンアクセスなど、大学や図書館の周辺では様々な共有の試みが見られますが、では、アジア研究図書館ではいったいどのような〈共有〉を目指し、実現していくべきでしょうか。本シンポジウムでは、アジアの中の知や財の共有のあり方を見直し、そこからアジアをめぐる知や情報の共有の現在と未来を考えます。



場所：
東京大学本郷キャンパス構内
法文2号館
文学部1番大教室

日時：
2017年1月29日(日)
13:00 ~ 17:00 (12:30 開場)

開場 12:30

[第1部] 13:00-15:35 司会/ 徳原靖浩 (U-PARL 特任助教)

開会の辞 義輪顕量 (U-PARL 部門長、大学院人文社会系研究科)

趣旨説明 富澤かな (U-PARL 副部門長)

近世中国における「法帖」の刊行・流通と書文化の変容について
増田知之 (安田女子大学文学部)

イスラーム地域における知の獲得と利用——ウラマーとマドラサと図書館
三浦徹 (お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科)

地域研究情報基盤による「地域の知」の蓄積・共有・利用の事例について
原正一郎 (京都大学地域研究統合情報センター)

日本における「知」の蓄積と共有——日本史史料の所蔵のあり方から考える
久留島典子 (東京大学附属図書館長、史料編纂所)

コメント 中島隆博 (U-PARL 兼務教員、東洋文化研究所)

[第2部] 15:50-17:00 司会/ 齋藤希史 (大学院人文社会系研究科)

パネルディスカッション
増田知之、三浦徹、原正一郎、久留島典子、中島隆博

開会の辞 有田伸 (U-PARL 兼務教員、社会科学研究所)

無料・一般公開

事前にサイトからお申込みいただきますと
当日の受付がスムーズです
<http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp>

